



校長室だより

第 1 7 号

令和3年7月7日(水)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

靴をそろえましょう

今日は七夕です。本校でも理科室前，生活科室前に短冊が飾られています。七夕の話は中国民間伝承がもとになっているそうです。日本には，奈良時代に宮中儀式として伝わり，織姫が機（はた）織りの上手な働き者だった…という内容から，手芸や裁縫の上達を願う風習につながりました。星に願い事をする原型はここから始まっているそうです。天気が心配ですが，今晚星が見られるといいですね。

6日(火)に朝会があり，「靴をそろえましょう。」という話をしました。

長野県の円福寺というお寺の藤本幸邦ふじもとこうほうというお坊さんがこんなことを言っています。

はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものがそろう
ぬぐどきにそろえておくと
はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと
世の中の人の心もそろうでしょう



永平寺の開祖である道元禅師は，日々の修行の中に「履物をそろえる」という行為を組み込んでいました。はきもの，つまり靴です。靴をそろえることは「自分自身を見つめる」「自分の行いを振り返る」と考えていました。「履物が散らかっていると，心が乱れている。そろっていれば心が落ち着いている」ということです。

こんな話もあります。先生が「おはよう」といっても挨拶もしない。陸上の大会に出ても負けてばかりだったという，大阪市にある松虫中学校という中学校の陸上部は，「靴をそろえることで，創部6年目にして，種目別日本一を13回も獲るまでになった」と当時の監督さんが言っていたそうです。

また，箱根駅伝で何度も優勝している青山学院大学陸上競技部の原晋監督は次のように言っています。「人はすぐに結果を求めたがりますが，土壌を耕すには，どうしても時間が掛かるものなのです。質のいい花をたくさん咲かせたいなら，まず目を向けるべきは土壌を耕すことです。」

沼部小学校では，すでに4年生が靴をそろえることに取り組んでいます。昇降口で脱いだ靴をきちんとそろえています。とてもすばらしいですね。

5年生は，来週15日に，1泊2日の花山合宿に出発します。落ち着いて有意義な活動するためにも，靴をそろえることを意識して活動に取り組んでほしいと思っています。

沼部小学校に質のいい花をたくさん咲かせたい！！土壌を耕すことに，まず，靴をそろえることを学校では取り組みます。原監督がおっしゃっている通り時間が掛かることだと思います。御家庭でも「靴をそろえること」を意識させていただけると大変ありがたいです。子供たちがしっかり意識できれば，きっと質のいい花が多く咲くことでしょう。